

## 清鋼材(3448)

鋼材価格市況の上昇は業績面で好影響を及ぼすと期待。設備投資増強により中長期的な競争力を強化へ

TOKYO PRO Market | 鋼材部品加工事業等 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 3448:JP | REUTERS 3448.T

- 2021/3 通期は、売上高が前期比 13.9%減、営業利益、経常利益、当期利益は赤字幅縮小。コロナ禍に伴う需要減が減収に響いた一方、利益面では前期の自然災害、米中貿易摩擦の影響の反動が出た。
- アジアと東南アジア市場の低調な推移により、日本・中国・タイともに減収。利益面では日本・タイが赤字幅縮小、中国が黒字確保。
- 昨年秋以降の鋼材価格市況上昇は業績面で好影響を及ぼすと期待される。また、競争力強化のための設備投資増強が必要とされよう。

### What is the news?

5/28発表の2021/3通期は、売上高が前期比13.9%減の32.15億円、営業利益が前期の▲7,212万円から▲3,236万円へ、経常利益が同▲1.13億円から▲2,898万円へ、当期利益が同▲2.04億円から▲2,392万円へ赤字幅縮小。鋼材加工事業の主要市場である建設・産業機械業界は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてサプライチェーン断絶により生産活動が停滞するなど需要が減退したことが減収に響いた。その一方、当初の会社予想よりも生産活動の落ち込みが浅かったこと、および前期において台風など自然災害や米中貿易摩擦長期化が業績を直撃していたこと、およびタイ子会社の減損損失を計上していたことの反動増により、営業利益、経常利益、および当期利益は赤字幅縮小となった。

セグメント別の通期業績は以下の通り。①日本は、売上高が前期比10.3%減の17.61億円、セグメント利益が前期の▲1.01億円から▲2,700万円へ赤字幅縮小。アジア市場の低調な推移により減収となったが、利益面では前期に発生した令和元年東日本台風の影響によるサプライチェーン寸断等に伴う建設・産業機械市況の悪化の反動が出た。②中国は、売上高が同15.9%減の12.96億円、セグメント利益が同76.9%減の1,167万円。アジア市場の低調な推移による受注減少が響いた。③タイは、売上高が同32.1%減の1.57億円、セグメント利益が前期の▲2,162万円から▲1,703万円へ赤字幅縮小。東南アジア全域の建機需要が低調に推移した。

### How do we view this?

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であることから 2022/3 期の会社業績予想を未定とした。業務効率化や生産性向上に継続的に取り組むとともに国内外での新規顧客開拓や高付加価値製品の開発を進める方針を掲げるなか、鋼材価格の市況は昨年秋を底値として上昇基調を強めており、業績面で好影響を及ぼすと期待される。また、同社の生産方針である高品質、多品種少量生産、および短納期の達成のためには寸法精度を高めた製造設備、一品生産に重点を置いた CAD システムと光ファイバーにより連結されたレーザーマシンの配備など設備投資増強が中長期的な競争力強化のためには必要とされよう。

### 業績推移

事業年度	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3F
売上高(百万円)	4,491	3,736	3,215.00	-
経常利益(百万円)	62	-113	-28	-
当期純利益(百万円)	12	-204	-23	-
EPS(円)	45.37	-684.79	-79.96	-
PER(倍)	77.14	-	-	-
BPS(円)	2,411.00	1,631.40	1,590.76	-
PBR(倍)	1.45	2.15	2.20	-
配当(円)	15.00	0.00	-	-
配当利回り(%)	19.44	0.00	-	-

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)  
 株価(円) 3,500 2021/6/16(基準値)

### 会社概要

1966年に前社長の星野清士氏が鋼材および非鉄金属等の仕入販売を目的として東京(八丁堀)で設立後、2000年に本社を新潟県糸魚川市へ移転。主に鋼材の加工(切断、開先、折曲、穴明、溶接、塗装)および販売を行う。同社グループは日本(清鋼材および清エステート)、中国(昆山清陽精密機械)、タイ(スガステール・タイ)の3拠点で事業を行っており、各地域において現地法人が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開する。その他に持分法適用関連会社として、同社製品の輸送を委託する有限会社バンノーがある。

主力の鋼材加工事業の内容は以下の通り。①清鋼材は、主に小型の建設機械および産業機械用の鋼材部品加工を行っている。②昆山清陽精密機械は、主に中～大型の建設機械および産業機械用の鋼材部品加工を行い、日系の建機・産業機械・車両メーカー向けの厚板溶断製品を生産している。③スガステール・タイは、主に中型の建設機械の鋼材部品加工を行い、日系建機メーカー向けに厚板溶断製品を生産している。④その他の事業として、本社工場屋根に太陽光パネルを設置して太陽光発電事業を行うほか、第二工場に無菌室の「清々ファーム」を設置して農業生産事業を手掛けている。2019/9/26にTOKYO PRO Marketへ上場を果たした。

### 企業データ



### 主要株主(2021/3/31)

株主	(%)
1. 星野 陽一	43.00
2. 東京中小企業投資育成株式会社	30.00
3. 星野 美智子	14.00
4. 星野 大輝	9.33

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。